

COURSE
09

ITS

Innovative Thinking System

■ 営業所

札幌／盛岡／仙台／新潟
長野／北関東／東京／新宿
横浜／静岡／名古屋／金沢
京都／大阪／神戸／岡山
広島／高松／福岡／熊本

■ 海外拠点

Seoul／Shanghai

■ お問い合わせ/お申込み先

株式会社 ビジネスコンサルタント

〒100-0005
東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー

URL <http://www.bcon.jp/course/>
TEL: 03-3287-3413 公開講座担当直通
FAX: 050-3730-0886
E-mail: info_kokai@bcon.jp

※お申込みは、Webでお申込みいただくか、
お申込み書に必要事項をご記入いただき
FAXまたはE-mailにてお願いします。

※記載の内容は予告なく変更する場合があります。
※記載の内容は2015年3月現在のものです。

09 | イノベティブ・シンキング・システム
成長の鍵となる革新的思考を開発

「イノベーション=創造性+実践」 パターン化した思考の「たが」を打ち壊し、
新たな価値を生み出すイノベティブな発想力と実践力を開発します。

イノベーションを起こしていくための発散技法と収束技法 および実践化思考をトータルに習得する講座



受講対象者 組織にイノベーションを起こすことが求められる全ての変革推進リーダー

組織・個人の成長の鍵はイノベーションです。しかし、業界の常識、過去の成功／失敗体験、自分自身に対する画一的な見方などが思考の限界を生み、イノベーションをさまたげます。そしてそれが意思決定のパターン化となり、行動・成果の限界につながります。行動の柔軟性や幅を決定づけるものは「思考の枠組み」です。従来の思考や行動の枠組みから脱却して斬新なアイデアを生み出し、実践する能力が求められています。

目標観

1. 思考の「たが」「殻」を破るための自己理解を深める。
2. 革新的なアイデアを創出するための技法を習得する。
3. 革新的アイデアを収束し実践へ結びつける思考能力およびプレゼンテーションスキルを高める。
4. 革新的思考を発揮するとともに、他者の革新的思考も活用できるリーダーシップの考え方を学ぶ。
5. これからの革新的思考発揮のための自己啓発目標を明確にし、設定する。

特徴

- ITS では、組織でイノベーションを起こすために必要な下記 5 つの機能について体験的に学習します。
 1. アイディアの案出 …… 段違いの数と質のアイデアを生み出す組織能力
 2. アイディアの採択 …… 企業家精神による採択とプレゼンテーション力
 3. アイディアの実践 …… 公式的な組織づくりとリーダーシップ力
 4. 保護役 …… 情報をインプットする外部・他部門の機能
 5. 後見役（資源面／精神面） …… パワーを持つ人たちのバックアップ機能
 ※エドワード・ロバート／アラン・ファスフィールド（マイケル・タッシュマン講演会より）
- 日本発の本研修は15年以上の歴史を持ち、受講者は年間7千人を超えています。アメリカ合衆国、中国、韓国、デンマーク、フィリピンなど多くの国々でも導入されています。アメリカ合衆国の歴史ある教育訓練団体でも、数年にわたりITS に関する発表が行われています。

※ 「ITSライセンス取得講座」への参加をご希望の方は、事前に本講座へご参加ください。詳細は担当営業にお問い合わせください。

開催日程 & 開催場所

2015年9月 2日(水)～9月 5日(土)〈ラフォーレ修善寺〉
2016年2月17日(水)～2月20日(土)〈ラフォーレ琵琶湖〉

※ライセンス取得講座
2015年11月24日(火)～11月27日(金) 4日間通い
〈BCon東京セミナールーム(本社)〉

参加費用

¥330,000

※上記料金には、教材費・食事代を含みます。
消費税は別途。
※消費税は新消費税法が適用されます。

予定スケジュール

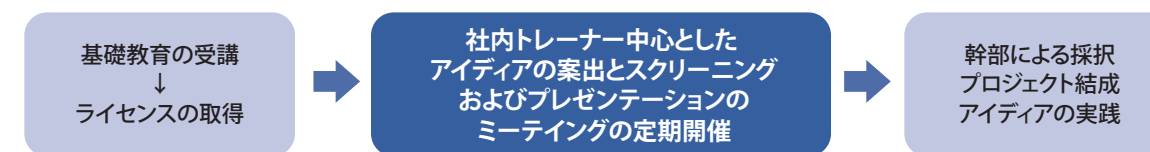
	1日目	2日目	3日目	4日目
8:30		講義 ・思考の「たが」3つの視点 ・クリエイティブな組織文化をつくる	講義 ・革新に必要な組織の機能 ・サステナビリティとイノベーション ・予定調和シンドローム	講義 ・振り返り ⑦企画のプレゼンテーションと フィードバック
9:00				講義・演習 セブマップ法（実践化技法） 1. 基本演習（仕事面のマップ）
10:00		自己診断 ・イノベーションに関する強み	講義・演習 セブスクリーン法（収束技法1） 基本演習 ②アイデアのスクリーニング（a）	2. 基本演習（人間面のマップ）
11:00	11:00 開始 オリエンテーション ・研修の目標観 ・革新的思考の背景	講義・演習 5. 逆転する 6. 連結する イノベーションのケース演習 （独創と共創）	③スクリーニング（b）	演習 ・4日間の技法の確認 リアルテーマへの適応
12:00	自己紹介			
13:00	昼食	昼食	昼食	昼食
14:00	講義・演習 ・創造性について	講義・演習 7. 選択肢を追加する 8. まとめ	講義 ・チームプロセス ・リーダーシップ ④スクリーニング（c）	実習 振り返りと行動計画作成
15:00	講義・演習 「革新的思考技法」 セブテクニック法（発散技法） 1. 常識を壊す イノベーションのケース演習 （独創と共創）	総合演習 イノベーションミーティングの 体験（①～⑦） ①イノベーションのアイデア案出	講義・演習 セブブラッシュ法（収束技法2） 基本演習 ⑤アイデアのブラッシュアップ	15:00 終了予定
16:00				
17:00	2. 夢を描く 3. 欠点・欠陥を取り出す 4. 誇張する	実習 ・フィードバック	講義 ・プレゼンテーション	
18:00				
19:00	夕食	夕食	夕食	
20:00	リフレクション 学びの記述と共有化	リフレクション 学びの記述と共有化	⑥ブラッシュ会議と プレゼンテーション準備	
21:00		ソーシャルアワー		
21:30				

※上記は予定スケジュールです。進行具合により、予定時間が前後する場合があります。

参考：タイムズ〈TImeS (The Innovation Meeting Solution)〉とは

本プログラムは、「革新的組織文化は持続的革新を起こし続けることから作り上げられる」という仮説をもとに多くの組織で導入されています。激変する環境の中でも一貫して右肩上がりの成長を続けている組織の特徴を一言でいえば『持続的な革新』、具体的にはプロダクトとプロセスの2つのイノベーション（革新）を強力に続けているということにつきます。つまり、革新を起こすことがもはや日常の組織活動として社員の誰もが疑わない「当たり前」として扱われているのです。アイデアを数多く考え出し、そのアイデアを具体的に実践し、競争他社に先がけてスピーディーにアウトプットとして生み出す組織能力と仕組みにすることが最も大事なことになります。創造と革新を理念として唱えたり、勉強会を実施したり、あるいは傑出した個人の英雄の革新力に依存するだけでなく、組織のリソースである多くの社員の知恵を引き出し、結集し、組織としてのアイデアとして統合し、成果に結び付けられる「場と時間と道具性」をセットで提供するソリューションプログラムです。

<イノベーションミーティング>



※詳細は担当営業にお問い合わせください。